

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 五味 潤 秀幸

幹 事 手塚 正智

会報・雑誌委員長 吉田 恭平

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2804号 2018年9月11日(晴れ) 第10回例会 会員数123名 列席87名 出席率79.09%



点 鐘 五味 潤 会長
司 会 副SAA 山本 会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

◇本日のランチ

小付 カツオの刺身 クロケットサラダ添え
御飯 汁 香の物 デザート

会長挨拶

五味 潤 会長

皆さん、こんにちは。去る9月6日未明の北海道地震には大変驚きました。41名の方が亡くなり、学校は昨日辺りから本格的に始まったようですが、電気や水道の復旧には時間がかかると思います。9月7日にRI2550地区伊東ガバナーから西日本集中豪雨被害の義援金について報告がありました。当地区からは合計240万円の寄付が集まり、特に金額は示していませんが、黒磯RCから多額の寄付を頂戴しました、ということです。ガバナー会の決定により(幹事報告の通り)送金したということです。北海道の地震災害につきましては、ガバナー会から連絡がありましたら皆様にお知らせいたします。募金箱を回すことになると思いますので、宜しく願いいたします。

ところで、9月は「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリー友の月間」です。今日は加藤勝朗会員に卓話をお願いしております。先日出席したRLIでロータリアンの3大義務を再認識いたしました。一つ目は会費を納入すること。二つ目は例会の出席。三つ目はロータリーの友を購読してください、ということです。今日の卓話を最後までご静聴の程よろしくお願い申し上げまして、挨拶いたします。



幹事報告

手塚 幹事

◇本日18時30分~ ホテル丸治にて五味潤年度第3回定例理事会開催。

◇西日本集中豪雨被害義援金の報告

地区内48クラブより240万円の寄付があり、ガバナー会より第2670地区四国4県、第2690地区岡山、島根、鳥取、第2710地区広島、山口の3地区へ均等に80万円ずつ送金。

◇平成30年北海道胆振東部地震義援金等に関しては追って連絡することのこと。



委員会報告

◇親睦委員会

金子副委員長

<誕生祝い・9月>

会員誕生

稲見 京二、小林 利延、小野 誠、
尾野崎孝夫、櫻井 基雄、辻 裕司、
若度 哲久、山本 修一 各会員

夫人誕生

皆藤 美実、金澤 正邦、松山 栄、
櫻井 基雄、鈴木 郁夫、田原 聖、
手塚 正智、柳田 慎治 各会員の奥様



会員卓話

「友地区代表を振り返って」

加藤勝朗 会員



昨年、ロータリーの友地区代表委員として1年間活動させていただきましたので、その報告をいたします。2年前に当時の太城ノミニーに指名を受け、引受けた以上はロータリーのことを勉強し、

やっというとうと始まりました。最初の活動として、翌年5月に東京での地区代表のオリエンテーションに参加いたしました。7月の新旧代表委員の引継ぎの合同会議には、前日に入院してしまい出られませんでした。8月には第1回ゾーン会議がありました。全国34地区を3つのゾーンに分け、そのうちの東ゾーンの代表者の集まりです。年が変わり、3月に第2回ゾーン会議がありました。ロータリーの友の代表になると毎月感想文を書くので、舐めるように読みました。7月に引継ぎがあったのですが、この時ひとつ嬉しかったことがあります。委員になって最初の感想文から「ロータリーの友には前書きや後書きがないのはおかしいのでは。」と言ってきました。1年経ってやっという私の意見が通り「ロータリーの友に後書きを書きます。」と言われたことです。

次に「ロータリーの友」について紹介いたします。ロータリーの友のホームページからダウンロードした資料で説明します。

－ パワーポイントで説明 －

2015-16年度、国際ロータリー特別月間の変更に伴い雑誌月間が無くなり、日本独自の月間としてロータリーの友月間が新設されました。1952年に日本のロータリークラブが2つの地区に分割され、分割後もお互いのことを知っていたいという思いがあり、共通の機関誌の発行が決まりました。1905年にロータリークラブが出来て以来、地区でも多くなりました。ロータリアンの基本的な姿勢、思想、目的を見失わないようにと作った機関誌が『The Rotarian』で、それに見習って日本も雑誌を作ったということです。地域の雑誌はいろいろな国で出されています。

ロータリーの友を読むことがなぜ、三大義務のひとつなのか、勉強し、自分なりに考えました。以前に卓話した時も話したのですが、1905年という時代を考えた時、アインシュタインが相対性理論など三大論文を発表しており、物理学の世界では奇跡の年と言われています。もうひとつ大きな奇跡が起きました。ポーツマス条約です。ナショナリズムの始まりです。この時、仲を取り持ったアメリカ大統領のルーズベルトがノーベル平和賞を貰っています。そして、もうひとつの奇跡が、私に言わせるとロータリークラブが出来たことです。アメリカはこの時まで、海外のことには一切関与しないモンロー主義でした。ボランティアやチャリティー、サービスということに対して後進国でした。そこにロータリークラブが出来たということがほぼ奇跡に近いのではないかと思います。その時の気持ちを、そういう歴史を忘れずにいなさい、ということで、ロータリーの友を読みなさい、という義務にしているのではない

かと、私はそう解釈しました。ロータリーの友では今でも毎号、6頁目に、ロータリーの目的、歴史が書いてあります。

ロータリーの友にはR I 指定記事があります。『The Rotarian』の中から指定された記事を翻訳して転載しなければなりません。ロータリーの友には縦書きと横書きがあります。横書きはR I 指定記事、ロータリーに関する特集など、地域雑誌として公式的な記事が中心です。縦書きは日本のロータリアンが親睦を深めるための記事となっています。8人の編集員がなんとか読んで貰おうと毎年新しい試みを行っています。今年度は将棋、碁、内外よろず案内、表紙についても、イラストレーターの名前等が入りました。ロータリー100年ということで、2020年に向けていろいろな企画もしていくとのことです。また、昨年途中から「声」のコーナーも設けています。そして、編集部の後書き、「あと「あ」がき」が入りました。編集部がどういう気持ちで書いているのかわかるだけでも、多少、読まれるようになるのではと思います。また、ロータリーの友のウェブサイトがあるので、是非、ログインしてみてください。

2018年6月号に、2550地区で6件の投稿が載りました。どんどん投稿して、ロータリーの友を自分のものにして貰いたいと思います。掲載されるには幾つか条件があります。投稿には活動日を入れ、活動日の1ヶ月以内に出して下さい。時間が経過したものはまず掲載されません。周年行事や団体集合写真も出ません。長さなど、投稿規定に合わないものも掲載されません。ロータリーの友やウェブサイト等に投稿規定が書いてあります。投稿すると面白いと思います。全国34地区9万人の読者がいて、毎月楽しみに読んでいる方もおりますので、是非、投稿していただければと思います。注意していただきたいのは、写真や文章をそのままコピーはしないで下さい。友の雑誌やウェブサイトに出ているものをそのまま使用する時は必ず一報下さいとのことです。ロータリーの友はロータリアンを結ぶ架け橋です。ロータリーの友の購読は義務ですが、義務を果たせば権利が生じます。投稿する権利、ロータリーの友に参画できるという権利があります。その権利を行使していただくのが一番だと思います。

※2016年9月27日の会報に加藤勝朗会員の地区委員卓話「ロータリーの友について」が掲載されているのでご参照下さい。